

Integrated Report 2024

ティ・エス テック 統合報告書



「人」のチカラで「喜び」を社会へ

TSフィロソフィー

理念

「人材重視」「喜ばれる企業」

社是

わたしたちは 常に モノづくりに夢を求めて
無限の可能性に
挑戦し
快適で良質な商品を
競争力のある価格で 世界のお客様に
提供する

運営方針

- 人の和とコミュニケーションを尊重して、明るい職場を創ろう。
- 時間とプライオリティを大切にして、調和のとれた仕事をしよう。
- 情熱と知恵をもって、新しい価値の創造にチャレンジしよう。
- 自己のビジョン実現に向けて、たゆまぬ努力をしよう。

私たちの存在価値は時代を超えて「TSフィロソフィー」にある。

「人材重視」「喜ばれる企業」

社員一人ひとりの力を最大限に引き出し

いつだって、お客さまの笑顔を生み出す製品を追い求めてきた。

誰も体験したことのない感動を、世界中に届けていくために

私たちが生み出す価値は常に変わり続けていく。

でも私たちは変わらない。

これからのモビリティをもっと自由で、

もっと楽しいものにするために無限の可能性に挑戦し続ける。



ティ・エス テックグループに受け継がれる TSフィロソフィーの考え

ティ・エス テックの存在価値は、TSフィロソフィーを具現化することでのみ、見出すことができます。TSフィロソフィーは理念・社是・運営方針からなり、人こそ企業の決め手との考えを企業経営の根幹に据え、自動車内装システムサプライヤーとして継続的な企業価値の向上を図るとともに、社会との共生を目指して、ステークホルダーの皆さまから「喜ばれる企業」となることを使命と考えています。



企業活動の根幹を成す理念

「人材重視」 「喜ばれる企業」

一生懸命に努力し挑戦する人材が、当グループの原動力であり、企業の財産「人材」でもあります。ティ・エス テックはそうした「人」を大切にしながら、全てのステークホルダーと信頼関係を築き上げ、存在を期待され「喜ばれる企業」になることを目指しています。

当グループの企業活動の目的を表した社是

わたしたちは 常に モノづくりに夢を求めて
無限の可能性に
挑戦し
快適で良質な商品を
競争力のある価格で 世界中のお客様に
提供する

前段

社是は前段と後段に分けて構成されています。前段は理念の一つである「人材重視」に通じ、理念を体現するための「心」を表しています。また、後段はもう一つの理念「喜ばれる企業」に通じ、理念を体現するための「形」を表しています。

後段

社員一人ひとりが意識して取り組む4つの運営方針

- ▶ 人の和とコミュニケーションを尊重して、明るい職場を創ろう。
- ▶ 時間とプライオリティを大切に、調和のとれた仕事をしよう。
- ▶ 情熱と知恵をもって、新しい価値の創造にチャレンジしよう。
- ▶ 自己のビジョン実現に向けて、たゆまぬ努力をしよう。

当グループで働く人材は、開発や営業・購買、生産、管理など、それぞれ職種も違えば働き方も異なります。運営方針を自身の業務に置き換え、TSフィロソフィーを実践する道しるべとして、各々が意識しながら日頃の業務に取り組んでいます。



TSフィロソフィーを体現する
世界中の多様な「人材」が
企業成長に欠かせない「人財」となる

C O N T E N T S

- 01 企業理念
- 02 TSフィロソフィー
- 04 CONTENTS+編集方針
- 06 テイ・エス テックのあゆみ

ステークホルダーの皆さまへ

- 08 社長メッセージ
技術革新を促進させるべく人的資本投資や
パートナーとの連携強化を進め
企業競争力をこれまで以上に高めていく



価値創造ストーリー

企業価値向上に向けて

- 12 価値創造プロセス
- 14 2030年に向けた目指す姿
- 16 第15次中期経営計画概要
- 18 財務戦略
- 22 技術TOPインタビュー
- 26 バリューチェーン
- 34 価値を生み出す各セグメント
- 36 ステークホルダーエンゲージメント



マテリアリティとESG経営

特集

- 38 サステナビリティ委員長インタビュー



- 40 特定したマテリアリティと2030年目標

社会 Social

- 42 人的資本に関する取り組み
- 46 人権尊重の取り組み
- 47 サプライチェーンへの取り組み

環境 Environment

- 50 サステナブルな社会の実現
- 51 TCFDに基づく情報開示
- 54 環境に関する取り組み

ガバナンス Governance

- 58 コーポレート・ガバナンス
- 67 社外取締役メッセージ

ファクトブック

財務報告

- 73 財政状態と経営成績に関する説明および分析
- 74 連結財政状態計算書
- 75 連結損益計算書および連結包括利益計算書
- 76 連結持分変動計算書
- 77 連結キャッシュ・フロー計算書



財務・非財務ハイライト

- 78 財務ハイライト
- 80 非財務ハイライト
- 84 会社概要
- 85 統合報告書発行にあたって

編集方針

テイ・エス テックグループは、2012年より当グループの財務・非財務情報の統合報告書として「テイ・エス テック レポート」を発行しており、2021年3月期からその名称を「テイ・エス テック統合報告書」へ変更しました。引き続き、本誌では世界中のステークホルダーの皆さまから存在を期待され「喜ばれる企業」となるため、当グループが大切にしている企業姿勢や、事業を通じて行っているサステナブルな取り組みを紹介していきます。

報告メディアについて

統合報告書

テイ・エス テック
Webサイト



非財務情報

「サステナビリティ」
社会・環境に関する
定性・定量情報を掲載
[https://www.tstech.co.jp/
sustainability/](https://www.tstech.co.jp/sustainability/)

財務情報

「投資家情報」
有価証券報告書や
決算説明会資料などを掲載
<https://www.tstech.co.jp/ir/>

対象範囲

グループ連結（テイ・エス テック株式会社および国内外の子会社、関連会社）を基本としています。環境・社会などの一部のデータについては国内単体のみの集計結果の場合もあります。集計範囲が異なる場合は、文中に明記しています。

表記に関する留意事項：

テイ・エス テックグループ（当グループ）は、グループ連結を示しています。また、テイ・エス テック（当社）は、国内単体を示しています。

対象期間

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）

参考ガイドライン

- 国際標準化機構 (ISO) 「ISO26000:2010」
- IFRS財団 (IFRS Foundation)
「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」
- GRIサステナビリティ・レポート・スタンダードなど

免責事項

本レポートは、当グループの計画・見通し・戦略・業績などの将来見通しの記述を含んでいます。これらは、現時点で入手可能な情報から判断した事項に基づくものです。